

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2009年3月9日~3月13日)

発表日: 2009年3月6日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 日本経済短期チーム  
TEL: 03-5221-4528

## (3月9日~3月13日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
3月9日 (月)	8:50 1月国際収支 経常収支(前年比) (原数値)	▲91.5% +993億円	— ▲153億円	— ▲5,000億円~+4,770億円	▲92.1% +1,254億円
	8:50 2月マネーストック M2(前年比)	+1.9%	+1.9%	+1.7%~+2.1%	+1.9%
	M3(前年比)	+0.9%	+0.9%	+0.8%~+1.1%	+0.9%
	広義流動性(前年比)	▲0.3%	▲0.3%	▲0.4%~▲0.2%	▲0.3%
	8:50 2月貸出・資金吸収動向 国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	+4.6%
14:00 2月景気ウォッチャー調査	現状判断 DI	—	—	—	17.1
	先行き判断 DI	—	—	—	22.1
3月10日 (火)	13:30 1月特定サービス産業動態統計				
	14:00 1月景気動向指数 CI一致指数(前月差) CI先行指数(前月差)	▲2.6pt ▲2.3pt	▲2.5pt ▲2.3pt	▲2.9pt~▲2.5pt ▲3.1pt~▲2.2pt	▲2.5pt ▲1.8pt
3月11日 (水)	8:50 1月機械受注 船電除く民需 (前月比)	▲4.1% ▲40.0%	▲5.0% ▲40.2%	▲11.0%~+2.0% ▲44.4%~▲37.3%	▲1.7% ▲26.8%
	8:50 (前年比)	▲0.9%	▲0.6%	▲1.2%~▲0.1%	▲1.0%
	2月企業物価指数 (前月比) (前年比)	▲1.5%	▲1.2%	▲1.9%~▲0.6%	▲0.2%
3月12日 (木)	8:50 10-12月期 GDP2次速報 実質GDP成長率(前期比) (同年率)	▲3.5% ▲13.5%	▲3.5% ▲13.4%	▲3.7%~▲3.1% ▲14.1%~▲11.8%	▲3.3% ▲12.7%
	名目GDP成長率(前期比)	▲2.0%	▲1.8%	▲2.0%~▲1.6%	▲1.7%
	GDPデフレーター(前年比)	+0.9%	+0.9%	+0.8%~+1.0%	+0.9%
	3月13日 (金)	8:50 2月製造業部門別投入・産出物価指数 交易条件(前月差) (前年差)	— —	— —	— —
13:30 1月鉱工業生産指数・確報	鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	▲10.0%
	(前年比)	—	—	—	▲30.8%
	稼働率指数(前月比)	—	—	—	▲11.8%
	生産能力指数(前年比)	—	—	—	+1.4%
13:30 1月商業販売統計・確報	小売業販売額(前年比)	—	—	—	▲2.4%
	14:00 2月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯)	—	—	—	26.4

(注) 市場予測はBloomberg、日経quick調査をベースに作成

## 【重要指標の当社予測とコメント】

### 1月国際収支・経常収支(原数値) 当社予想: +993億円 中央値: ▲153億円

1月の経常黒字額は993億円(前年比▲91.5%)を予想する。既に発表された貿易統計では、輸入は国内需要の低迷や在庫調整に伴う減産を受けて、前年比▲31.7%とマイナス幅を拡大したが、世界同時不況を背景に輸出が▲45.7%と輸入以上に大きく落ち込んでいることから、4ヶ月連続で貿易赤字となった。サービス収支は横ばい圏内での推移が見込まれるが、所得収支も海外子会社の業績悪化、金利低下、円高などにより、引き続き配当金や債券利子等の受取減少が予想される。黒字幅縮小につながるマイナス要因が多く、経常収

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

支は11ヶ月連続での前年割れとなりそうだ。(エコノミスト：小杉 晃子)

**1月景気動向指数 C I一致指数／C I先行指数(前月差) 当社予想：前月差 ▲2.6pt／▲2.3pt 中央値：同 ▲2.5pt／▲2.3pt**

先行C I、一致C Iとも大幅なマイナスとなり、景気の急速な悪化が進行していることが示される見込みだ。内閣府によるC I一致指数の基調判断も「悪化」が維持されるだろう。景気が2007年10月に山をつけてから既に1年以上が経過しているが、未だ下げ止まる兆しは見えていない。景気に半年程度先行すると言われるC I先行指数の大幅悪化が続いていることから単純に考えれば、少なくとも09年半ばまでは景気の悪化が続くということになる。

なお、統計作成上の技術的な要因から、公表されている一致C Iの値は実際の景気悪化の大きさを過小評価していることには注意したい。公表されている一致C Iの落ち込み幅でみれば、足元の景気悪化はITバブル崩壊や金融システム不安当時の景気悪化と同程度に過ぎないが、実際にはそれを遥かに上回る落ち込みになっているとみるのが正しいだろう。(主任エコノミスト：新家 義貴)

**1月機械受注・船舶電力除く民需(前月比) 当社予想：前月比 ▲4.1% 中央値：同 ▲5.0%**

1月の機械受注(船舶・電力除く民需)は、前月比▲4.1%と4ヵ月連続の減少を予想する。関連統計をみると、12月の工作機械受注(内需)は前年比▲83.7%(12月：同▲73.8%)、半導体製造装置受注は同▲88.0%(12月：同▲83.4%)とともに減少率が拡大している。景気悪化による企業の投資意欲の減退が続くなか、機械受注の減少傾向を確認する結果となるだろう。こうした機械受注の落ち込みが示す通り、当面の設備投資は減少ペースが速まる公算が大きい。(副主任エコノミスト：齋藤 俊輔)

**2月企業物価指数・国内企業物価(前年比) 当社予想：前年比 ▲1.5% 中央値：同 ▲1.2%**

2月の国内企業物価は前月比▲0.9%、前年比▲1.5%を予想する。これまで、4ヶ月連続で前月比1%を超える下落率となっているが、2月についても同程度の下落が続くと思われる。内訳をみると、石油・石炭製品、化学製品、鉄鋼、非鉄金属、プラスチック製品、製材・木製品などが前月比でマイナスに寄与する見込みである。

石油・石炭製品や非鉄金属については、景気後退を背景とした需要の弱含みから、引き続き前月比マイナスでの推移が続くと考えられるものの、前月比のマイナス幅は縮小すると思われる。一方、1月に大きく下落した化学製品であるが、原材料となるナフサ価格の下落から、2月も引き続き大幅マイナスとなる見込みである。

先行きについて、先物価格が下げ止まってきたことから、石油・石炭製品、非鉄金属の値動きは小幅なものにとどまると思われる。一方で、石油化学製品、鉄鋼、小麦、電気料金などでは今後大幅な値下げがなされる可能性が高く、国内企業物価は引き続き下落基調を維持しよう。国内企業物価は、夏場にかけてマイナス幅を急速に拡大させていく見込みだ。(エコノミスト：中本 泰輔)

**10-12月期GDP 2次速報・実質GDP成長率 当社予想：前期比年率 ▲13.5% 中央値：同 ▲13.4%**

法人企業統計の結果を受けて、設備投資が僅かに下方修正、民間在庫投資の前期比寄与度も+0.2%ポイント(1次速報：同+0.4%ポイント)に下方修正されることを主因として、実質GDPは前期比▲3.5%、前期比年率▲13.5%と、1次速報段階の前期比▲3.3%、前期比年率▲12.7%から下方修正されると予想する。マイナス幅は74年1-3月期の前期比年率▲13.1%を超え、過去最大となる見込みである。10-12月期に景気が急激に悪化したことが改めて確認されるだろう。また、これまで公表されている経済指標を見る限り、09年1-3月期についても前期比年率二桁減少となる可能性は高い。GDPが2四半期連続二桁減となるこ

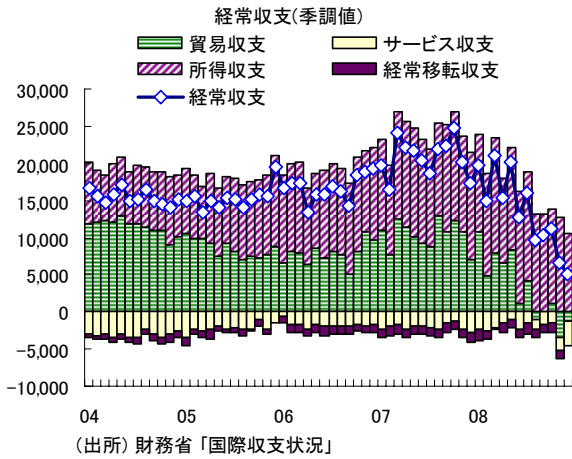
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

とで、08年度の経済成長率が大幅に低下するだけでなく、09年度にかけての発射台（成長率のゲタ）が極めて低くなる。筆者は、海外経済の底打ちや在庫調整の進展等を受けて09年7-9月期以降にはプラス成長に戻ると予想しているが、年度の成長率でみると大幅なマイナスは避けられない。

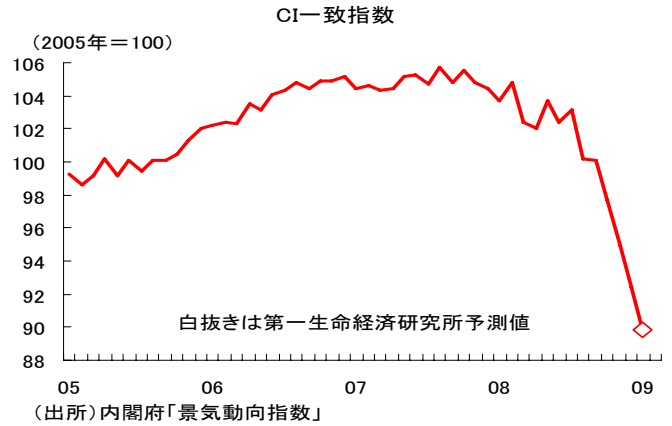
（主任エコノミスト：新家 義貴）

以上

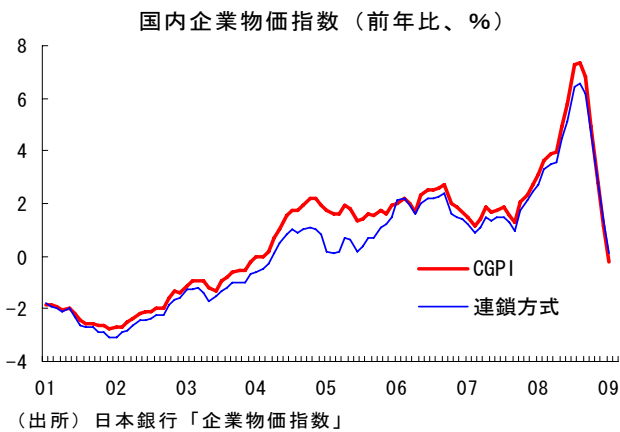
図表 1



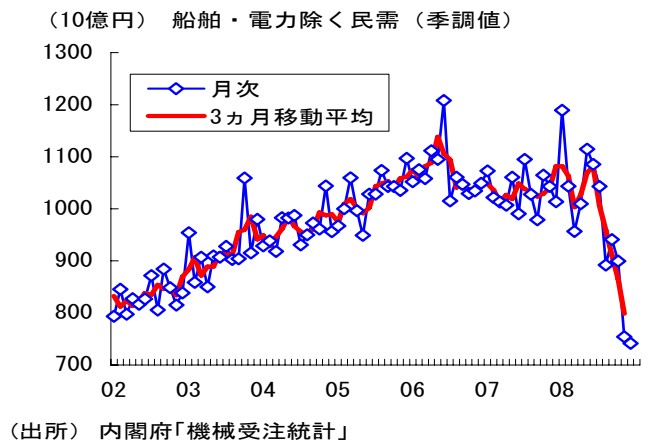
図表 2



図表 3



図表 4



図表 5

2008年10-12月期GDP2次速報予測 (前期比、%)

	2008年10-12月期	
	1次速報	2次速報予測
実質GDP	▲ 3.3	▲ 3.5
前期比年率	▲ 12.7	▲ 13.5
内需寄与度	▲ 0.3	▲ 0.6
民間最終消費支出	▲ 0.4	▲ 0.4
民間住宅	5.7	5.7
民間企業設備	▲ 5.3	▲ 5.5
民間在庫品増加(寄与度)	0.4	0.2
政府最終消費支出	1.2	1.2
公的固定資本形成	▲ 0.6	0.2
外需寄与度	▲ 3.0	▲ 3.0
財貨・サービスの輸出	▲ 13.9	▲ 13.9
財貨・サービスの輸入	2.9	3.1
名目GDP	▲ 1.7	▲ 2.0
前期比年率	▲ 6.6	▲ 7.4

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

### 3月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/2 1月毎月勤労統計(10:30) 2月自動車販売(14:00) 2月軽自動車販売(14:00)  (米)1月個人所得・消費 (米)2月ネット求人広告指数 (米)2月ISM製造業指数 (米)1月建設支出 (欧)2月消費者物価	3 2月マナタリーベース(8:50) 1月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債  (米)1月中古住宅販売保留 (米)2月自動車販売 (欧)1月生産者物価  (豪)金融政策委員会	4 須田日銀審議委員挨拶  (米)2月ISM非製造業指数 (欧)1月小売売上高 (豪)10-12月実質GDP	5 10-12月期法人企業統計(8:50) 30年利付国債  (米)1月製造業受注 (欧)10-12月期実質GDP(改) (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (中国)全国人民代表大会 (フィリピン)金融政策委員会	6  (米)2月雇用統計 (米)1月消費者信用残高
9 1月国際収支(8:50) 2月マネーストック(8:50) 2月貸出・資金吸収(8:50) 2月景気ウォッチャー調査(14:00)	10 1月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 1月景気動向指数(14:00)  (米)1月卸売在庫 (独)2月消費者物価(確) (仏)1月鉱工業生産	11 1月機械受注統計(8:50) 2月企業物価(8:50)  (米)2月財政収支	12 10-12月期GDP2次速報(8:50) 5年利付国債  (米)2月小売売上高 (米)1月企業在庫 (欧)1月鉱工業生産 (独)1月鉱工業生産 (仏)2月消費者物価  (韓)金融政策委員会	13 2月投入・産出物価指数(8:50) 1月鉱工業指数・確(13:30) 1月商業販売統計・確(13:30) 2月消費動向調査(14:00)  (米)1月貿易収支 (米)2月輸入物価 (米)3月シカゴ大消費者センチ(速)
16 (米)3月NY連銀製造業指数 (米)1月対米証券投資 (米)2月鉱工業生産 (米)3月NAHB住宅市場指数 (欧)2月消費者物価	17 1月第3次産業活動指数(8:50) 1月建設総合統計(14:00) 金融政策決定会合(~18日) 20年利付国債  (米)2月生産者物価 (米)2月住宅着工 (米)2月建設許可 (米)FOMC	18 1月景気動向指数改訂(14:00) ※2月全国百貨店売上高(14:30) 日銀総裁定例記者会見(15:30)  (米)2月消費者物価	19 3月ロイター短観(8:30) 1月全産業活動指数(8:50) 3月金融経済月報(14:00)  (米)2月景気先行指数 (米)3月フィラ連銀指数	20  (韓)10-12月実質GDP
23 1-3月期法人企業景気予測調査(8:50) 2月コンピエンスストア統計(16:00) ※平成21年地価公示(16:50) ※3月月例経済報告  (米)2月中古住宅販売件数	24 10-12月期資金循環(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(2月18,19日分)(8:50) ※2月チェーンストア販売統計(14:00)  (米)1月住宅価格指数 ※(独)3月消費者物価(速) ※(独)3月Ifo景況感指数	25 ※2月貿易統計(8:50) 山口日銀副総裁講演 2年利付国債  (米)2月新築住宅販売件数	26 2月企業向けサービス価格指数(8:50)  (米)10-12月期実質GDP(確)	27 2月消費者物価・全(8:30) 3月消費者物価・都(8:30) 2月商業販売統計(8:50)  (米)2月個人所得・消費 (米)3月シカゴ大消費者センチ(確) ※(ハトナム)1-3月実質GDP  (ニュージーランド)10-12月実質GDP
30 2月鉱工業指数(8:50)  (米)3月ネット求人広告指数	31 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 1月毎月勤労統計・確(10:30) 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00)  (米)3月シカゴPMI (米)3月CB消費者信頼感指数 (欧)3月消費者物価(速)	4/1 3月日銀短観(8:50) 3月自動車販売(14:00) 3月軽自動車販売(14:00)  (米)3月ISM製造業指数 (米)2月中古住宅販売保留 (米)2月建設支出 (米)3月自動車販売	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マナタリーベース(8:50) 10年利付国債  (米)2月製造業受注 (欧)ECB理事会 (欧)2月生産者物価	3 2月家計消費状況調査(14:00)  (米)3月雇用統計 (米)3月ISM非製造業指数 (欧)2月小売売上高  (インドネシア)金融政策委員会

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

4月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/30 2月鉱工業指数(8:50) <i>(米)</i> 3月ネット求人広告指数	31 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 1月毎月勤労統計・確(10:30) 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00)  <i>(米)</i> 3月シカゴPMI <i>(米)</i> 3月CB消費者信頼感指数 <i>(欧)</i> 3月消費者物価(速)	4/1 3月日銀短観(8:50) 3月自動車販売(14:00) 3月軽自動車販売(14:00)  <i>(米)</i> 3月ISM製造業指数 <i>(米)</i> 2月中古住宅販売保留 <i>(米)</i> 2月建設支出 <i>(米)</i> 3月自動車販売	2 3月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 3月マナタリーベース(8:50) 10年利付国債  <i>(米)</i> 2月製造業受注 <i>(欧)</i> ECB理事会 <i>(欧)</i> 2月生産者物価	3 2月家計消費状況調査(14:00)  <i>(米)</i> 3月雇用統計 <i>(米)</i> 3月ISM非製造業指数 <i>(欧)</i> 2月小売売上高  <i>(インドネシア)</i> 金融政策委員会
6 2月景気動向指数(14:00) 金融政策決定会合(～7日)	7 日銀総裁定例記者会見 (15:30)  <i>(米)</i> 2月消費者信用残高 <i>(欧)</i> 10-12月期GDP(確) <i>(英)</i> 2月鉱工業生産	8 2月国際収支(8:50) 4月金融経済月報(14:00) 3月景気ウォッチャー調査 5年利付国債	9 2月機械受注統計(8:50)  <i>(米)</i> 2月貿易収支 <i>(米)</i> 3月輸入物価 <i>(独)</i> 3月消費者物価(確) <i>(独)</i> 2月鉱工業生産 <i>(英)</i> BOE金融政策決定会合 <i>(韓)</i> 金融政策委員会	10 金融政策決定会合議事要旨(3月17,18日分)(8:50) 3月マネーストック(8:50) 3月貸出・資金吸収(8:50) 2月特定サービス産業動態統計調査(13:30)  <i>(米)</i> 3月財政収支 <i>(仏)</i> 3月消費者物価 <i>(仏)</i> 2月鉱工業生産 <i>(露)</i> 10-12月実質GDP
13 3月企業物価(8:50)	14 30年利付国債  <i>(米)</i> 3月生産者物価 <i>(米)</i> 3月小売売上高 <i>(米)</i> 2月企業在庫	15 3月投入・産出物価指数(8:50) 2月商業販売統計・確(13:30) 2月鉱工業指数・確(13:30)  <i>(米)</i> 3月消費者物価 <i>(米)</i> 4月NY連銀製造業指数 <i>(米)</i> 2月対米証券投資 <i>(米)</i> 3月鉱工業生産 <i>(米)</i> 4月NAHB住宅市場指数	16 4月ロイター短観(8:30)  <i>(米)</i> 3月住宅着工件数 <i>(米)</i> 3月建設許可件数 <i>(米)</i> 4月フィラ連銀指数 <i>(欧)</i> 3月消費者物価(確) <i>(欧)</i> 2月鉱工業生産 <i>(中国)</i> 1-3月期実質GDP <i>(中国)</i> 3月消費者物価 <i>(中国)</i> 3月小売売上高 <i>(中国)</i> 3月固定資産投資 <i>(フィリピン)</i> 金融政策委員会 <i>(南ア)</i> 金融政策委員会	17 2月第3次産業活動指数(8:50) 2月毎月勤労統計・確(10:30) 2月建設総合統計(14:00) 3月消費動向調査(14:00)  <i>(米)</i> 4月シカン大消費者センチ(速)  <i>(トルコ)</i> 金融政策委員会
20 2月景気動向指数改訂(14:00) ※3月全国百貨店売上高(14:30) 3月コンビニエンスストア統計(16:00) ※4月月例経済報告  <i>(米)</i> 3月景気先行指数	21 ※4月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) 20年利付国債  <i>(英)</i> 3月消費者物価	22 ※3月貿易統計(8:50)  <i>(米)</i> 2月住宅価格指数	23 ※3月チェーンストア販売統計(14:00) 2年利付国債  <i>(米)</i> 3月中古住宅販売件数	24 3月企業向けサービス価格指数(8:50) 2月全産業活動指数(8:50)  <i>(米)</i> 3月耐久財受注 <i>(米)</i> 3月新築住宅販売件数 <i>(英)</i> 1-3月期GDP(速) ※ <i>(独)</i> 4月Ifo景況感指数 <i>(韓)</i> 1-3月実質GDP
27 企業行動に関するアンケート調査(15:00)  ※ <i>(独)</i> 4月消費者物価(速)	28 3月商業販売統計(8:50)  <i>(米)</i> CB消費者信頼感指数	29 <i>(米)</i> 1-3月期GDP(速) <i>(米)</i> FOMC  <i>(マレーシア)</i> 金融政策委員会	30 3月鉱工業指数(8:50) 3月住宅着工統計(14:00) 4月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合  <i>(米)</i> 3月個人所得・消費 <i>(米)</i> 4月シカゴPMI <i>(欧)</i> 4月消費者物価(速) <i>(ニュージーランド)</i> 金融政策委員会 <i>(フランス)</i> 金融政策委員会	5/1 3月消費者物価・全(8:30) 4月消費者物価・都(8:30) 3月労働力調査(8:30) 3月一般職業紹介状況(8:30) 3月家計調査(8:30) 3月毎月勤労統計(10:30) 4月自動車販売(14:00) 4月軽自動車販売(14:00)  <i>(米)</i> 4月シカン大消費者センチ(確) <i>(米)</i> 4月ISM製造業指数 <i>(米)</i> 4月自動車販売

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。